



安心して暮らせる地域を目指して

あんしん
NPO

おかげさまで22周年



Vol.83

令和6年
12月号

発行者／NPO法人支援センターあんしん

〒948-0076 新潟県十日町市住吉町1112番地3

Tel. 025-757-5511 Fax. 025-757-1144

- ワークセンターあんしん ● きぼうワークス
- ケアセンターハーモニー ● グループホーム

URL <https://www.npo-ansin.jp/>

支援センターあんしん

検索



農薬無散布の天日干し米を好評販売中!

プレミアムな「あんしん魚沼産コシヒカリ」

ワークセンター きぼうワークス グループホーム

ボランティアさんも加わり30人余が笑顔の共同作業!



「あんしん水田」で
手刈りの稲刈り作業!



天日干し作業



天日干し米の脱穀作業

雑草との闘いを乗り越え黄金米を収穫!

全て農薬不使用の魚沼米と野菜作り 秋の実りを収穫、販売や乾燥加工へ

あんしん米は
1等米に格付け

農福連携に取り組んでいる「NP
○法人支援センターあんしん」で
は9月25日、快晴下で農薬不使用
のあんしん魚沼産コシヒカリの稲
刈りと天日干し作業をボランティア
アさんと利用者・職員の計30余名
で実施(一面参照)いたしました。

10月初旬には乾いた「はぎ掛け
米(天日干し米)」の脱穀作業も行
われ、協同組合米ネットワーク新
潟による10月4日の検査でみごと
と1等米に格付けされました。

10月23日には「ひまわり福祉給
食」であんしん新米が利用者さん
らに提供され、「ほんのり甘みが
美味しい」と水田散歩で雑草と
の闘いを乗り越えた日々を振り
返り、皆さん満面の笑顔で味わっ
ていました。

また販売用約150kgは、注文
を受けてから精米を行い、5kg入
り1袋6千円(税込・送料別)で販
売しています。既に電話やふるさと
と納税で注文も入っており、在庫
が無くなり次第終了となります。
ご注文はワークセンター ☎025
175515621へ。



稲刈り

今年も収穫できました。しかも1等米に格付!



水田さんぽ

畑作は順調推移も えごま栽培激減

今年の畑作は、イオン様の地場
野菜コーナーで直接販売する
ジャガイモやカボチャをはじめ、
焼き芋販売するサツマイモ、乾燥
野菜工場「パートナー」用のニンニ
クやパセリ、切り干し大根「ドラ
イJラディッシュ」の原料となる
秋大根は順調に推移も、「エゴマオ
イル」原料のえごま栽培が高温の
影響から収量が激減、今年のエ
ゴマオイル生産には黄信号が点っ
ています。



えごま栽培



サツマイモ収穫



ジャガイモ収穫



ニンニク収穫



イオンで販売



ジャガイモ洗い作業



大根洗い作業



いい大根採れたよ



ツナガル妻有で販売

いずれにしても栽培中全てで農
薬は使っておりませんので、安心
して地場産野菜の味覚を満喫で
きます。
また10月26日には、一般社団法
人十日町青年会議所主催の福
祉・交流イベント「ツナガル妻有」
が十日町市総合体育館で開催さ
れ、当NPOはワー
クセンターあんし
んとして物販コー
ナーに出店。主力
商品のトイレット
ペーパーに加えて、
焼き芋やじゃがパ
ター、カボチャ、切
り干し大根などを
販売させて頂きま
した。



皆で苗と種植えました

きぼうワークス 「好きなものつくろうぜ畑」収穫!!

きぼうワークスでは、今年から全体での畑管理を止め、利用者さんを8班に分け、好きな野菜を自分たちで一貫して管理栽培する畑作体験を行いました。種蒔きから朝夕の水やり、草取り、収穫までを班員が協力して行い、収穫物を分け合い美味しく頂きました。



びっくり！
特大のさつまいも獲れた～！



大きく育てと水やり



みんなで草取り



たくさんのきゅうりを収穫



ズッキーニ収穫班



立派なパプリカを収穫



レディBOYチームナス収穫

ある日のワークセンターのひとコマ ver1 お楽しみ会、お掃除運動会、健康診断



お楽しみ会

美味しい
お菓子と飲み物
そして笑顔



デュエットしました

気遣いの感じられる時間でした！



可愛い4人で歌とダンス



OXクイズでニコニコ



お掃除運動会

がんばれ～！

みんなではしっこペーパー取るぞ！



お掃除運動会
みんな真剣です！



採血、ドキドキ



健康診断

視力は
よくなっているかなあ？



身長伸びてる

Aチーム

ケアセンター・ハーモニー

Bチーム

「お出かけ」と「お買い物」を楽しんだよ♪



きれいな花に囲まれて♡



やっほー！



わんちゃんのおやつも探すよ！



パイナップル甘いかな♡



みんなでハイポーズ☆



何の花かな？



家族にお土産～q(≧▽≦q)♪



お母さんに買ったよ(^▽^)



ドライブに行ってきたよ！



芸術も楽しみました😊



買物ヘレッツゴー!!



今日の夕飯はまかせてね!!

『GH すまいる家』に何かあったか？劇場 13

グループホームの日常をご紹介します!!



二人だけの密談



ビールもう二つ追加で！



ん？全集中！



いや～っ感動！
この映画♡



避難訓練

落ち着いて！



※お店の方では
ありません！



Pick
アップ

一般就労実現の福島さん、きぼうWに移籍の尾身さん

「きぼうワークス」を卒業して(株)十印十日町水産への一般就労を叶えた福島さんと、同じ就労継続支援B型事業所ながら一般就労により近い「きぼうワークス(W)」に「ワークセンターあんしん」から移籍した尾身さんにインタビューしました。▽が質問です。

(株)十印十日町水産 米飯課に勤務



きぼうワークスOB
福島 寛之さん

水産物卸売で当地域を支えている(株)十印十日町水産の炊飯工場(平成4年8月新設)にみごと7月から採用された福島さん。同工場は学校給食のお米を炊いて提供しており、今秋からおにぎり製造にも着手し、さらなる地域貢献を目指しています。

▽仕事内容と注意していることなどは？

学校給食の米飯を担当しています。異物混入には気を付け、慎重に取り組んでいます。特に午前中の仕事は重要で慌ただしく大変ですがやりがいもあり、必要とされていると感じるので頑張れます。

▽目標や抱負を教えてください。

今の勤務時間で安定させて、それが生活リズムにも良い影響を及ぼすようになればと思います。ゆくゆくは仕事内容と勤務時間も少

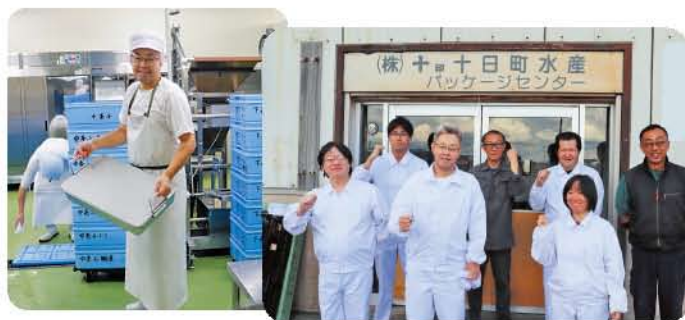
しずつ伸ばせたらいいと思います。

▽あんしんの経験は役立っていますか？

とても役立っています。1日の間に複数の仕事をこなす経験をずっと続けられたのは自信になりました。

▽将来の夢がありましたら教えてください。

あまり遠い先は考える余裕はありませんけど、心身が安定して安心できる人生をずっと続けたいです。



職場の仲間と

ワークからきぼうワークスに移籍



きぼうワークス
尾身 拓海さん

同じ法人下の「ワークセンターあんしん」から多様な外勤仕事がメインとなる「きぼうW」に7月から移籍した尾身さん。よりステップアップを目指して日々活躍中です。

▽移籍を決めた思いと実際に「きぼうW」でお仕事をしてみようですか？

一般就労へ向けたステップアップとして色々な仕事にチャレンジしたいと強く思いきぼうWに決めました。きぼうWではらんどリーで旅館や施設の包布や浴衣、シーツ等のクリーニング用仕分けやローラー乾燥作業など、グループホームやアパートの清掃作業、畑や水田の農業など多種多様に取組んでいて、きぼうWの皆さんと楽しく仕事をさせて頂いています。

▽目標や抱負を教えてください。



私は「One for all, all for one」(1人はみんなのために、みんなは1人のために)をモットーに仕事をする仲間との信頼関係を築き、協調性を高め、仲間と共により良いきぼうWを目指して頑張っていきたいです。

▽ワークの経験が生かされていますか？

ワークには8年位いました。活かされていることは臨機応変に対応できるようなった事です。仕事の急な変更があっても順応できるようになりました。

▽将来の夢がありましたら教えてください。

少しずつステップアップしてオールマイティに活躍できる自分になりたいです。

支援センターあんしんはお二人をずっと応援し続けます。

農福泊の体験交流施設オープン 古民家改修「SOBAINARI」開設

帰る旅宿泊と農福交流等の拠点に



SOBAINARI

泉のゆもとケhina、ゆもとケtama、そして「いなりケ」となります。「いなりケ」は当初、市内稲荷町4丁目の「いなりハイツ104号室」に開設も、同じ町内の新施設・SOBAINARIに移転しました。

NPO法人支援センターあんしん(樋口功会長)では、古民家をリノベーションした農福連携等に伴う体験宿泊と交流拠点を兼ね備えた施設「SOBAINARI」を11月10日、開設いたしました。

体験宿泊では雪国観光圏&じやらんリサーチセンター(株)リクルート)が取り組む「帰る旅プロジェクト」に参加しており、その宿泊拠点として登録した「いなりケ」の新たな宿泊施設ともなります。

現在この帰る旅宿泊拠点は全体で5箇所が稼働中で、さかとケ(南魚沼市)、にしななケ(湯沢町)、そして同じ十日町市で松之山温



1階の22畳 多目的ホール



2階の個室



1階のキッチンルーム



2階のキッチン



2階の台所等付き個室



2階の室内付浴室



2階の浴室

ユニット、トイレ、ベッド完備と、障がいがある方でも気軽に宿泊できる構造となっています。1階には22畳のフロアリング多目的室、キッチンルーム、シャワー室、大型冷蔵庫、食器棚、トイレなどが完備され縁側もあり、裏庭にはサウナも設置されました。帰る旅以外でも様々な来訪者が宿泊交流できるスペースへと生まれ変わりました。

帰る旅利用者はあんしん農作業やワークTP作業などを1日2・5時間お手伝いして「いなりケ」清掃を行うことで、素泊まり宿泊料(泊5千円)が最長3泊まで免除となり、それ以外の空いたお時間は大地の芸術祭見学など、ご自由にご活用いただけます。

同所を新たな拠点として来訪時に「お帰りなさい」とお迎えする帰る旅。ご希望の方は、ネット上で「いなりケ」を検索して、必須条件の「いなりケメンバーシップ」登録後、お申し込み下さい。

樋口会長は「農福や農泊は様々な所で取組まれています。農福泊は日本でも数少ない取組みです。そういった体験を重ねることで、一ターンのまでつながることを期待しています。移住前のお試しの役割も担っていきたいですね」と意欲を示していました。



裏庭に設置されたサウナ



長年「あんしん」を支える企業様ご紹介シリーズ

全国から TP のご注文、嬉しい応援届いています♪



金城学園と児童館の正面



グラウンド野外活動する園児



角谷正雄理事長

角谷正雄理事長に
インタビュー

新潟県南魚沼市の塩沢地域で幼稚園や保育園、放課後児童クラブ、高齢者のデイサービスセンターやグループホームを幅広く担い、あんしんトイレトペーパーを関連11事業所で購入頂いている角谷正雄理事長(65)にお話を伺いました。

学校法人金城学園「幼保連携型認定こども園金城幼稚園・保育園」(角谷正雄園長)を中心に、社会福祉法人若葉会の「保育所型認定こども園わかば保育園」、さらに児童保育も担っている「塩沢金城わかば児童館」、塩沢デイサービスセンター「ゆきつばき」、隣接する塩沢グループホーム「ゆきつばき」、雲洞グループホーム「つばき園」と幅広く運営している



中庭で遊ぶ園児



児童館トイレに飾られた感謝の絵手紙とあんしんTP

角谷理事長。あんしんトイレトペーパーご購入の切っ掛けを伺うと「亡き妻がわかば児童館の館長を務めていて、同じ福祉関係の仕事をしているので、何か協力できることがあれば、少しでもお役に立てればという思いから最初は児童館での購入を始めました。その妻の思いを大切にしたいと続けています」とお話し下さいました。

その上で「あんしんTPは使い心地が良く、特に同封の『感謝の絵手紙』が素晴らしい、児童館トイレに数多く飾っています。職員も

子どもたちもTPを通じて障がい者支援のお役にも立っていることを知る機会になっていました」と目を細められました。

昭和41年に先代が開設した小規模保育の金城幼稚園。同63年には空き園舎を活用し現在地に移転。翌年、学校法人の認可を受け園舎を増改修。平成8年には社会福祉法人若葉会を設立して未満児用のわかば保育園開設が事業拡大への原点となりました。

角谷理事長は幅広い事業について「3歳児入園に伴い、下の子の面倒も見にくくないかと言われ、では未満児も限定で預かりましよう」と託児所を始めたら、地域の方が他に預ける施設が近くにないのでもこの子も預かって欲しいと次々と来て、わかば保育園を始めました。また地域の方から児童を放課後に受入れる施設が無いと要望を受けて児童館を設立。さらに老人介護の施設も近くにない土地元熱意を受け、居宅介護支援事業所とデイサービスだけ始めたのです。



年長さん組の協働活動

が、土地を寄付するからグループホームをやって欲しいと言われて開設。文科省と厚労省の全国総合施設モデル事業の県内唯一の指定を受け、金城幼稚園内に保育園を設立して『幼保連携型認定こども園』を開設するなど。私たちが主体的に取組みたかったこと、地域の方の要望にこたえてきたのが現在の姿です」と微笑まれました。

特色を活かし幼児と高齢者の相互交流を大切にしており「園児にとって祖父母が自宅にいない人も多く高齢者を見て泣く子もいますが、何度も行くと一緒に遊ぶようになります」と生きた情操教育の重要性を語り、「精神的な発達に支援が必要の子が凄く増えていて、一緒に育てましよう」と話しています。小さい時の愛情が大切と、親御さんへの教育にも力を注いでいます」と示され、「老人介護は食事を作る方は一緒に作ったり、商店街の軽トラ市に行くようにしたりと、孤立しないよう努めています」と力強く話されています。

日本農福連携協会の正会員に 農福スポット・comで体験ツアー受入開始

NPO法人支援センターあんしんではこのほど、一般社団法人日本農福連携協会に正会員として参加させて頂きました。

同協会は、農福連携に関する様々な団体・人々が参画連携するプラットフォームとして、情報を発信し、人々をつなげ地域を元気にして、生きづらさを抱えた方々が暮らすに暮らせる社会構築を目指しています。

同協会の農福連携体験サイト「ノウフク」農福スポット・comに「6次産業化から街づくりまで」あんしんのよくりばり農福ツアー」として登録させて頂いております。詳しくはネットで検索下さい。

また、11月5・6日には、新潟県と協同で県外在住の障がい者を対象

とした体験ツアーを初開催。愛知県無門福祉会(自然栽培パーティ所属)の利用者さんと職員さん2名が参加して下さいました。

お二人は完成したばかりの農福泊交流施設「SOBA-INARI」を拠点に、花水農産様でイチゴの葉かき作業、あんしん畑で大根収穫作業も体験、交流会も開かれ、体験を満喫されていました。



▲イチゴの葉かき作業



▲大根収穫体験

障がい者の自立支援に賛同 農福連携 「自然栽培パーティ」に参加

NPO法人支援センターあんしんでは、ワークセンターあんしんとして農福連携自然栽培パーティに会員参加し、自然栽培農業に力を注いでいます。

自然栽培パーティは、全国の障がい者が自然栽培に取り組み、



▲農福体験ツアー交流会

カラーデザイン トイレットペーパー

飾る・贈る トイレットペーパー
新年のご挨拶・お年賀にぴったりです！



全て2個セットで 各350円(税込)

新年スペシャルセット



合計50組(100個)・巳年
¥17,500(税込)

(送料・代引き手数料別)
※税等はオプションで別途
お問い合わせ下さい。

その他にも組み合わせセットが
多数ございます。

お気軽にお問い合わせください。支援センターあんしん 検索

編集後記

大地の芸術祭効果でらんどりー作業が多忙を極めました。利用者や職員の皆さんが懸命に励み、何とか乗り切りました。年末年始は「ふるさと納税」集中期となり、TP作業が超多忙となります。今冬は大雪との予報ですが、めげずに、利用者さんと楽しく元気に頑張っていきたいと思います。(美)

「あんしん」会員募集

NPO法人支援センターあんしんの活動をご支援くださる会員の募集しています。会員の皆様には広報紙や行事、講演会などの情報・案内をお届けいたします。

正会員

入会金	10,000円
年会費1口	5,000円
賛助会員・個人	
年会費1口	3,000円
賛助会員・法人	
年会費1口	10,000円
特別賛助会員	
月会費1口	10,000円